

社会医療法人 清風会  
法人だより

# 清風

冬号  
2023年1月1日 vol.70



▲自宅から見た広島湾の旭(撮影:相談役 梶原 四郎)



社会医療法人 清風会



五日市記念病院・廿日市記念病院は  
(公財)日本医療機能評価機構の認定病院です

# 2023年 年頭のご挨拶

社会医療法人 清風会 理事長  
(五日市記念病院 院長)

むかだ  
向田 一敏



相変わらず新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、様々な場面で制限を必要とする状況が続いています。現在、我が国では新型コロナウイルス感染症の感染症法上の対応を、2類相当から5類へ緩和する方向で検討が進められていますが、医療機関や介護施設内では多数の感染クラスターが発生し、診療業務上、大きな支障を来しています。新型コロナウイルス感染症が発生する以前の2019年2月、五日市記念病院において季節性インフルエンザの院内クラスターが発生しましたが、約1か月半の間、救急や入院の受け入れ停止、病棟間の移動制限など、種々の有効な治療薬が使用可能な状況下であったにも拘わらず、現在の新型コロナ感染クラスターと似た事態により誠に難渋したことを思い出します。新型コロナ感染症治療において、現時点では、手軽に使用可能で有効性が実証された内服薬や吸入薬はなく、そのような状況下で法制上の緩和策がとられた時、医療現場では今以上に様々な辛い状況と混乱が発生することを危惧します。

## ■ (1) 社会医療法人 清風会 第6期 (2022年7月～2022年12月) を振り返って

### ① 法人全体

- 2022年2月 電子カルテシステムを、五日市記念病院、

廿日市記念病院の両院で更新しました。従来のベンダーを変更し、更新後も両院のデータベースを統一化して運用するべく、作業を継続していましたが、12月1日を以って両院のデータベースを統合しての運用を開始しました。今後しばらくの間は、子細な修正が必要ですが、従来と比べ両院が“清風会病院”としてより一体化した動きができるものと期待しています。

### ② 五日市記念病院

- 2022年7月 日本医療機能評価機構の病院機能評価の更新審査(3rd.G:Ver2.0)を受審しました。先日、認定通知を受け取りましたが、認定を受けたことは然ることながら、前回受審の評価結果に比べてその内容が全般的に改善している点が意義深いところです。今回の結果に甘んじることなく、今後も安全で信頼される医療を継続して提供するよう努めていきたいと考えます。今回の更新認定は職員全員が一致協力して努力してくれた結果であり、職員の皆様に謝意を述べます。
- 2022年10月 整形外科の室山俊則医師が入職しました。元々は整形外科医ですが、内科を研修後、ここ約7年間は訪問診療に興味を持ち、訪問診療医としての経験を深めたとのこと。今後、法人で進めようとしている訪

問医療を手掛けてもらうべく、体制づくりを開始しています。既に10月からみなし訪問看護ステーションを開始しており、本年2月から正式に【五日市記念病院訪問看護ステーション】としてスタートする予定です。

### ③廿日市記念病院

- 2022年10月 緩和ケア病棟が日本緩和医療学会の認定研修施設の認可を受けました。施設長である小原弘之先生(学会専門医)は、2021年1月当法人に入職後、緩和ケア病棟の運営に尽力してくれています。最近の当該病棟の平均在院日数は30～40日と、以前の療養状況と一変して、急性期型緩和病棟として重症度の高い患者さんのケア、看取りを行っています。学会認定研修施設になったことで、専門医である小原医師と認定医である高橋元医師(外科)が協力しながら、今後、緩和医療を目指す医師の研修、育成体制を整えていく予定です。

## ■ (2) 社会医療法人 清風会の 2023年の方向性

### ①五日市記念病院訪問看護ステーションの開設

- 2023年2月1日、【五日市記念病院訪問看護ステーション】の名称で訪問看護ステーションを開設し、運営を開始します。現在、まだ少数ですが訪問診療も室山医師により併せて実施しています。今後は、特に当院で入院治療後に自宅へ退院された方で、通院困難な方への訪問医療と訪問看護を拡充させていきたいと考えています。更に、訪問リハビリも実施できるよう検討・準備を進めていきます。

### ②中断していた増築棟建築に向けての検討再開

- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、2021年3月竣工を目指して予定していた五日市記念病院増築棟の建設は中断しました。その後、新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いているのみならず、ウクライナ問題や燃料費高騰、記録的な円安などの影響を受けて、建設用資材の高騰が続いています。そのような状況下、廿日市記念病院、五日市記念病院のいずれのMRI装置も更新しなければならない時期が近付いています。日本の経済状況の先行きは不透

明で、好転する兆しもないことから、増築棟の規模を当初の予定より縮小し、計画を再開する予定です。

本誌の前号(2022年夏号)で既に述べましたが、今後、地域高齢化が一層進むことは人口統計上も明らかにされており、それに伴って脳卒中や心臓病などの加齢性血管疾患、肺炎、転倒による骨折などの運動器疾患が益々増加してくることが予測されます。これらの疾患の医学的な対応、管理は、急性期(救急)～回復期～維持期を含めて住み慣れた地域で一貫して行われることが、高齢患者さんにとって最も利便で、望まれるところだと思います。昨年末、民間医療系ウェブサイトの掲載記事(患者さんに選ばれる医療機関の要素についての患者さんへのアンケート結果:全国アンケート、回答者総数 2830人)をたまたま読んでいたところ、かかりつけ医として選ばれた理由の第1位は、近隣にあること(66.3%)でした。第2位は、医師に好感が持てること(58.1%)、第3位 診療予約ができること(56.8%)、第4位 医療機器が充実していること(50.3%)、第5位 施設がきれいであること(46.5%)という結果でした。利便性の尺度は、地域特性や個人の考え方で異なるとはいえ、目的を果たすための距離の要素は非常に大きいと言えます。当法人の医療圏においても、診断・治療において一定以上の医療レベルを担保するための医療設備の充実や医療者の能力向上・維持、地域での実効的な医療・介護連携を強化し、地域内、近隣で対応、完結できる医療・介護・生活支援体制を整えていく必要性を感じます。それに少しでも役立てるような清風会を目指し、職員全員が更に精進していきたいと考えます。



▲ 五日市記念病院 一般浴室庭園雪景色



## 令和5年は、 昭和64年＝平成元年から数えれば35年目

→ 悪循環から逃れ いい方向に向うことを願う

廿日市記念病院 院長 浅野 拓



 シアがウクライナに武力侵攻して、8か月後の10月に一方的にウクライナ4州の併合宣言を出しましたが、ウクライナ軍はいささかもひるまず戦意を高め激しく奪還を目指し、一方ロシア軍は撤退しているものの敗戦は認

めず、早期の停戦や和平協定は期待できそうもありません。

国内では、7月の安倍元首相襲撃事件以後、旧統一教会の問題、安倍氏の国葬の是非、大臣の任命責任、経済対策等々に対しても、野党側からの追及に迅速かつ適正な答弁

## 診療部長就任のご挨拶

五日市記念病院 診療部長 消化器・内視鏡外科長 内田 一徳



### 母川回帰

2022年10月1日より診療部長を拝命いたしました内田一徳です。私は昭和36年3月に楽々園の滝井産婦人科で生まれ、光禅寺幼稚園、五日市南小学校、広島学院中学・高校と生まれも育ちも五日市です。大分大学医学部を卒業後、広島大学医学部消化器外科(旧第二外科)に入局、以後、いろいろな病院に勤務し2021年4月より地元の病院である五日市記念病院にお世話になっています。「母川回帰」とは「サケやマスなどが海で成長したのち、産卵のために生まれた川に帰ってくること」です。私も豊後水道を経て瀬戸内海あたりを回遊し、三筋川を遡上して生まれた町に帰ってきました。地元民です。

### 五日市記念病院と私

当院は1991年7月に脳神経外科を中心に救急を担う95床の個人病院として開設されました。私はその2年後、1993年に医局から夜間当直医として派遣されておりました。

思い起こせばこの年はまさにJリーグが華々しく発足し、サッカー人気盛り上がりつつあったJリーグ元年でした。奇しくも当直は試合のある水曜日でした。コンビニで晩ご飯を買って18時前には病院に到着。院内ポケベルを受付で受け取った後、今と同じ当直室に上がるエレベーターの中で「ピーピーピー」……。部屋に入りすぐさま外来に電話連絡。「外来お願いします」、看護師さんの優しい声。それから深夜まで途切れることのない外来診療。ヘトヘトになって当直室に帰ると冷えたコンビニ弁当がそのまま机の上に……。Jリーグダイジェストでその日のサンフレッチェの結果を確認するのが、週一回、水曜日の楽しみ(?)でした。当時は五日市に夜間診療をしている医療機関がほぼありませんでした。最近はどうでしょうか？

### 佐伯区五日市

現在、佐伯区にはおよそ64,000世帯、14万人が暮らしています。日中はかかりつけの病院やクリニックへの受診が



がなされず、岸田内閣への大幅な支持率低下を招いています。

コロナ感染は数回のワクチン接種で重症化率の低下は認められてはいるものの、変異株のせいで感染者数は再々増加し始め、第8波の到来、インフルエンザ+コロナ（新造語フルコナ）の同時流行が生じれば医療体制の逼迫が叫ばれる中、当院では職場の感染対策には注意を払いつつ、入院患者の面会回数や朝礼によるコミュニケーションの時間を少しずつ増やしています。

また、インフレといえば、ロシアへの経済政策でエネルギー資源、食料価格の高騰が全世界に広がり、各国も対策に困っている状況が続いています。身近な卵、牛乳、100円ショップ商品も長い間値上げなく経過したと思っていましたが、この度は相当に厳しいものだ実感しています。

個人消費に限らず、院内でも早々に省エネ対策キャン

ペーンを立ち上げ、電力消費の効果は見られたものの電気料金の値上げにはとても追いつかず、先が思いやられています。

最後になりますが、広島県は2030年度を目標に、広島都市圏の再編として基本構想を公表しました。それによると県立広島病院、JR広島病院、中電病院は統合、舟入市民病院、土谷総合病院、広島記念病院、吉島病院、マツダ病院は急性期医療の一部機能の集約削減や新病院の移管なども検討されてるようです。

廿日市記念病院は五日市記念病院と電子カルテの更新で病院間のやり取りはスムーズになって来ており、これからも市中病院との連携を強め、現在の介護療養病床の一部を地域包括ケア一棟の配置を設け広島県西部地域の方々の要望に応えられるように、職員一同努めてまいりますので宜しくお願い致します。

可能ですが、夜間、休日の診療に於いては当時とあまり変わらない感じです。

当院は「社会に望まれる医療の実現、実践」を理念としています。この理念の元、急病の場合は24時間、365日、可能な限りの対応を行っております。五日市で生まれ、五日市で育った者としては、健康を守る病院が近くにあり、いつでも受診できることはもしもの時の安心に繋がっています。しかし、現状、道半ばです。ハード面においては、画像診断技術科が広島大学病院や広島市民病院などのいわゆる大病院にある高性能の320列マルチスライスCTを有し、臨床検査科の情熱で即時の検査結果による診断が可能です。しかし、ソフト面においては、TVで観るような「救命病棟24時」とか「ER」のように大勢のスタッフが常時待機しているわけではなく、この恵まれた検査体制を完全には使い切れてはいません。着任当初より、病院のポテンシャルはかなり高いと感じております。

医療環境は整っています。看護師はいつも患者さんを第一に考え、臨床薬剤科は豊富な薬剤知識を有し、臨床栄養管理科は栄養面からの健康サポートに積極的に取り組み、リハビリ技術科はロボットなどを駆使し疾患に応じたりリハビリテーションを行い、臨床工学科は進歩の著しい医療機器に精通し、医療福祉科は患者さんの不安を緩和し、事務部はやさしく患者さんに接する。診療部はこの高いポテンシャルを使って治療に専念することができます。

## 人体比率

開院30年、脳神経外科を中心に発展してきた当院は、病

床数も180床となりました。2022年4月には脳卒中・血管内治療センターを新設し、より高度な脳卒中治療を行っております。成長を続ける脳神経外科、この頭を支えるには丈夫な体が必要です。赤ちゃんは4頭身、成人は8頭身と言われています。当院の頭部分が大きすぎるのか、体が貧弱なのか、残念ながら今は8頭身には及んでいません。今後は成熟した病院としての理想的な頭と体のバランスが保てるように体を鍛えてまいります。

開院後、間もない時期の発達成長段階において、いわゆる「脳外科の病院」として、頭を支えるのが精一杯の体だったかもしれません。でも、今はバランスが徐々にとれてきました。今後は「全身が診られる脳外科も得意な病院」へと成長してきています。

入院施設をお持ちでない開業医の先生方にも脳疾患のみならず、内科系、外科系においても、「まずは五日市記念病院」と信頼を寄せていただけるようさらなる研鑽を積み、地域の皆様にも「困ったら記念病院」と言っていただけるよう、診療部一同、努力を積み重ねる所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



# 入職のご挨拶

五日市記念病院 整形外科 室山 俊則



**は**じめまして、2022年10月1日付けで診療部に配属となりました。法人が新たに在宅医療部を立ち上げることに伴っての新規採用です。

すでに皆様には一通りご挨拶させていただいておりますが、恒例ですので経歴をかいつまんでご説明いたします。

昭和37年に関西方面の瀬戸内海沿岸に面する鄙びた田舎町で生を受け、高校を卒業するまで過ごしました。

生まれて初めて故郷を離れ進学したのは5年前にできたばかりの新設医科大学で、見渡す限りの田圃の中にいきなりコンクリート打ちっぱなしの愛想のかけらもない建築物がドスンと佇んでいて、生まれ育った田舎をさえはるかに凌駕する壮絶な光景でした。

そんなこんなで時代が昭和から平成へと移った年に医師となり、それからの約20年間は整形外科医として主に外傷と関節を専門としながら、多くの時間を手術室で過ごし、時々外来したり、たま〜に病棟回診したりといった歪な日々を過ごしていた頃、少し考えるところもあり内科の研修医期間を経て内科医として勤務しながら、次第に在宅診療に携

わるようになっていきました。

さて、ここから本日のメインテーマであり、私が現在携わっている在宅診療について、上澄みの部分だけでもご説明します。

まずは在宅診療の上位概念としての在宅医療からご説明いたします。

病院で受けられていた医療サービスを高齢者や難病で長期療養を余儀なくされている方々が療養施設やご自宅などでも提供させて頂くものが「在宅医療」といわれるもので、従来療養的にも利用されていた病院への入院期間が医療制度上の問題から制約されてきている一方、ご自宅や有料老人ホーム、グループホームなどといった（主に高齢者向けの）施設で療養される方が年々増えてきていることも主要な背景となっています。

在宅医療は、医療関係者が、患者さんやご家族と相談の上、計画にもとづいて定期的に訪問し、治療や経過観察をする医療行為で、24時間体制で対応するシステム全体のことを指します。医師が訪問して診察や経過観察を行う在



▲ 五日市記念病院 新館1階庭園雪景色



▲ 五日市記念病院 屋上庭園

在宅診療（訪問診療や往診）、看護師が訪問してケアを行う訪問看護、理学療法士や作業療法士が行う訪問リハビリテーションなどが含まれます。

私が主体的に関わっている在宅診療としては「訪問診療」と「往診」とに分けられます。

訪問診療とは、計画的な医療サービス（＝診療）を行うことです。毎週〇曜日の〇時にと約束して医師が訪問の上、診療します。

患者さんやご家族（利用者）からご相談やご依頼を受けた時点で、これまでの病歴、現在の病気、病状などを詳しく伺うとともに、関係医療機関などから情報収集を図ります。その上で、どのような治療を受けられたいか、ご家族の介護力や経済的な事情なども詳しく伺いながら、診療計画、訪問スケジュールをたてていきます。

一般的には1週間ないし2週間に1回の割合で定期的、且つ、計画的に訪問し、診察、各種処置、薬の処方、療養上の相談、医学的な指導等を行っていきます。計画的定期的な医療を安定して提供できることによって、容態悪化の予防や自宅や施設に在ながらの長期療養も可能になります。

尚、急変時には緊急訪問に伺ったり、入院の手配をサポートしたり、最期の時はお看取りに伺うなど、臨機応変に対応することからも、「第一のかかりつけ医」として、一般的には24時間体制で在宅療養をサポートするのが、訪問診療の特色です。

在宅診療に携わっている医療関係者は『家にいたいをみんなで支えよう!』をスローガンに掲げ、いろんな人と協力して知恵を絞ってなんとかすることをモットーにしています。

具体的な医療行為としては、一般的な内科的診察、簡単な外科的処置、定期的な血液・尿などの検査、定期薬の処方、人工呼吸器の管理、点滴、経管栄養の管理やベグ交換、尿道カテーテルの管理、緩和ケア、臨時往診などなどです。

一方、往診とは、かかりつけの患者さんに通院できない事情が発生した場合に診察の要請を受け、医師がその都度、診療を行う医療行為です。突発的な病状の変化に対して、救急車を呼ぶほどでもない場合など、普段からお世話になっているホームドクターにお願いして診察に来てもらうもので、基本的には困ったときの臨時の手段で、しかも医療行為もかなり制限されます。

いずれは在宅診療だけを生業にして生計を立てたいと願っておりますが、当法人での事業が本格的に開始されるまでには色々と準備や手続きに時間がかかりそうなので、それまでは整形外科部門のお手伝いをさせていただいています。

それでは皆様、救急車が何台も連なってやってくるような急性期病院で勤務するのは超久しぶりなので、やたらとあたふたしていたり、電子カルテの前でフリーズしていますが、暖かい眼差しでそっとしておいていただけますようお願い申し上げます。

## 五日市TOPICS

# 五日市記念病院 病院機能評価認定更新

2022年12月2日（公財）日本医療機能評価機構が行う病院機能評価の更新認定（機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0）を受けました。

2001年に認定され4回目の更新となります。

今後も、質改善に取り組み続けられる体制・組織づくりに努めたいと考えています。





## 清風会芸術奨励作品展

清風会では、2013(平成25)年より、芸術文化教育の振興と芸術作品の展示を通じた療養環境の向上を目的に、広島市立大学芸術学部の学生・卒業生の優秀作品を院内展示する『清風会芸術奨励作品展』を開催しております。

広島で学び、意欲的に制作活動に励む若い作家の作品を、患者さんやご家族、多くの方々にご鑑賞いただきたと考えて企画・運営しております。

例年は外来・入院患者さん以外にも多くの皆様にご来場いただいておりますが、本年は新型コロナウイルス感

染拡大防止対策として、外来・入院患者さんに限定させていただいての開催としました。

出展作品の中から優秀作品を選出して購入し、現在は院内(五日市記念病院、廿日市記念病院)で合計38の作品を展示しております。ご来院の際にご鑑賞いただけましたら幸いです。今後も作品展の開催を継続して、芸術文化教育の振興と療養環境の向上に努めて参りたいと考えております。

## 展示作品(芸術奨励賞) 全14点



## 金賞

## 『永遠の華』

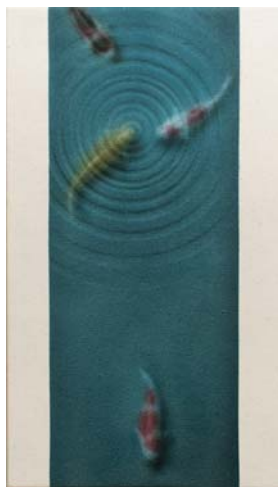
伊藤 遥

この度は、展示及び受賞をさせて頂き、心よりお礼申し上げます。題名である「永遠の華」は牡丹を油彩と螺鈿パウダーで描きました。

永遠ということは現実にはありえないことですが、「大切な人と一緒に過ごす時間が永遠に続いてほしいという願い」を込めて描きました。

この度の受賞を励みに更なる良い作品を制作したいと思います。

ご覧頂いた皆様誠にありがとうございました。



## 銀賞

## 『悠々閑々I』

川本 実果

この度は、清風会芸術奨励作品展におきまして、銀賞という栄えある賞をいただき、誠に嬉しく存じます。また、このような展示の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。この作品では、鯉が伸びやかに泳ぎ、水面が静かにゆらぐ穏やかな空間を表現しています。この作品が、ご覧くださる皆様にとって、爽やかで穏やかな気持ちになっていただく契機になれば幸いです。私自身もこの受賞を励みに、これからも作品制作に励みたいと思います。



## 理事長特別賞

## 『忘猿会』

小岩 芽生

この度は名誉ある理事長特別賞を頂き大変嬉しく思います。

この作品は約2年間ゆっくり制作し試行錯誤を繰り返し私と共に成長した作品でもあります。初めはカメラを持って自撮りをする猿でありましたが徳利に作り替え、色を塗ることで存在感ある作品へと生まれ変わりました。少しの工夫を加えるだけで意味も姿も変容し私の中では馴染み深い思い出のある作品です。



出展：広島市立大学 芸術学部  
 会期：2022(令和4)年10月22日(土)～28日(金)  
 会場：五日市記念病院 新館1階 第3待合室  
 主催：社会医療法人 清風会



## 第9回 清風会芸術奨励作品展表彰式

日時：2022(令和4)年12月16日(金)  
 場所：広島市立大学

社会医療法人 清風会



「texture」  
 亀川 果野



「ついはみ」  
 徳永 雄圭



「双頭怪獣 tom&ato」  
 Tokoma Tomato



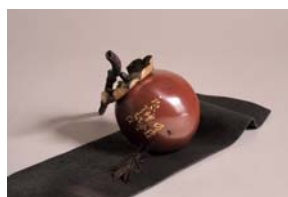
「零る」  
 村上 明花里



「蝶語花香」  
 浅岡 知里



「787-V」  
 岡田 祐人



「布袋留守模様-柿・小羽団扇楓-」  
 平尾 祐里奈



「風が攫う」  
 中山 琴音



「宮島轆轤楓拭漆飾皿 紅葉」  
 下村 祐介



「GEMME」  
 古川 千夏



「庭そうじ」  
 松川 華子

# 訪問看護を開始

看護部 竹岡 美希

日本では少子高齢化が進んでおり、「2025年問題」が度々挙げられています。後期高齢者が増加し、医療・介護需要がさらに高まることにより、現在の病院数・医療従事者数では一人ひとりの患者さんに十分なケアを提供することが出来ず、現場が機能しなくなる可能性があります。そのため、一刻も早い地域包括ケアシステムの構築が進められています。地域包括ケアシステムの中で、看護師は主に訪問看護師という形で携わります。五日市記念病院でも今年度の11月より訪問看護を開始しました。

五日市記念病院の回復期リハビリ病棟でリハビリを行った後、退院後の生活の場について考えていく際、経済的な事情により自宅で過ごしたいという患者さんと家族の希望があり、介護が必要な状況でありながらも自宅退院された方と、要介護4と介護度は高いものの少しの間でも自宅で過ごしたい、過ごさせてあげたいという強い希望のある患者・家族がおられ、その方もサービスを調整し、自宅で過ごされています。どちらの患者さんも膀胱留置カテーテル管理が必要であり、現在も継続して訪問看護で関わらせて頂いています。

訪問看護自体、病院で初めての取り組みであることと、私にとっても今まで色々な部署で経験をさせて頂きましたが、初めての経験でもあり、必要書類や手続き、申請方法や実

際訪問してからの対応など戸惑うことも多くありますが、ケアマネジャーを中心に他職種と連携を取りながら、また困ったときには上司へ相談し、一つ一つ問題を解決しながら取り組んでいます。

実際に訪問してみると看護師だけでは解決できないこともありました。ソフト食という特殊な食事形態で、退院前に栄養指導は行っていましたが、実際自宅へ帰ってみると思うように作れず家族が不安を抱えていたことが訪問看護介入の際に発覚しました。入院中からの体重と比較すると、かなり減少していることや、食事摂取状況を確認した際、必要なエネルギーを摂取出来ていないことによる低栄養の可能性があると考え、食事を作っている家族へ早急に栄養指導をする必要があると判断しました。そのため入院中から関わっている当院の管理栄養士に相談し、iPadによる栄養指導を行ってもらいました。その後、家族の不安も軽減し、食事の摂取量は徐々に得られるようになってきています。

退院後も継続して訪問看護で介入してもらえるとということで、患者・家族の方々には大変喜んで頂いています。

当院は24時間365日救急対応可能であることと、一般病棟から回復期・地域包括ケア病棟というケアミックス型の病院です。だからこそ出来る、理念に基づいた訪問看護を提供していきたいと思います。





# フローダイバーター治療について

脳卒中・血管内治療センター長 坂本 繁幸

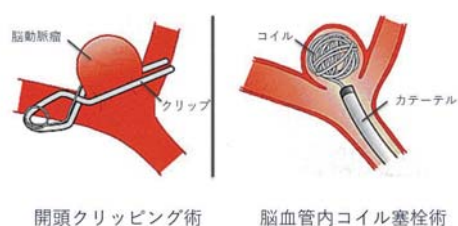
## 【未破裂脳動脈瘤の病態】

脳動脈瘤は、脳血管の壁の脆弱な部分が瘤状に膨らんだ病気で、破裂すると、くも膜下出血という致命的な病気を発症します。脳動脈瘤は大きさに関係なく破裂する危険がありますが、大きいものほど破裂の危険が高くなります。

## 【未破裂脳動脈瘤の治療法】

破裂を予防するためには、脳動脈瘤の中に血液が流入しないようにする手術が必要で、頭を開いてクリップで脳動脈瘤を潰す開頭クリッピング術(図1)と、血管の中からカテーテルで脳動脈瘤の中に柔らかいプラチナ製コイルを留置する脳血管内コイル塞栓術(図1)が一般的な手術方法です。

【図1】



## 【従来の治療法での限界】

しかし大きな脳動脈瘤の場合、これらの方法では治療が困難であり、脳動脈瘤が発生している血管自体を遮断するしかありませんが、血管を遮断すれば脳に血が流れなくなるので、代替血管として、腕や足の血管を頭に移植するなどの非常に侵襲度が高い手術が必要になります。一方、脳血管内コイル塞栓術では大きな脳動脈瘤の中にコイルを充填しても再発率が高いことが知られています。

## 【新たな治療法: フローダイバーター治療】

そこで、大きな脳動脈瘤に対する新たな治療法として、カテーテルで行うフローダイバーターによる脳血管内治療が、2015年10月から、国内の限定施設で行われるようになりました。フローダイバーターは、従来のステントと異なり、網目が非常に細かいステント(図2)で、このフローダイバーターを脳動脈瘤の入り口を覆うように血管の中に展開することによって、脳動脈瘤内への血液の流入を減らすことで、瘤内を血栓化させ、脳動脈瘤の破裂を防ぐ治療法です(図3)。脳血管内コイル塞栓術と異なり、壁の脆弱な脳動

脈瘤の中にカテーテルやコイルを挿入する必要がないので、術中破裂の危険性が低くなります。

【図2】



【図3】

フローダイバーター治療のイメージ



## 【フローダイバーター治療の対象】

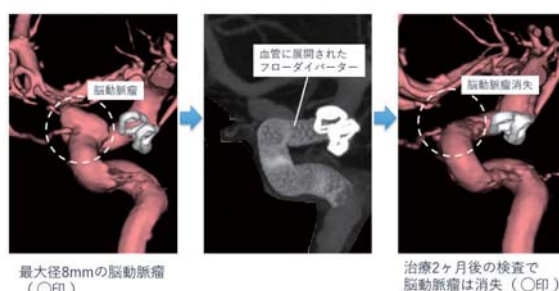
開頭クリッピング術や脳血管内コイル塞栓術で治療が困難な脳動脈瘤で、以前は、最大径10mm以上が対象でしたが適応が拡大され、現在では最大径5mm以上の脳動脈瘤が治療対象です。

## 【当院のフローダイバーター治療の実績】

この治療法には厳格な実施基準が設けられており、治療を施行できる施設は2022年11月時点で、全国で91施設、中国・四国地方では大学病院等も含め10施設のみにとどまります(Medtronicホームページ: Pipeline実施施設一覧 より引用)。当院でフローダイバーター治療が可能となった2022年4月から2022年10月で12例(同期間中での中国・四国地方では最多の治療実績)の脳動脈瘤にフローダイバーター(商品名: パイプライン)治療を行い良好な治療結果が得られています(図4)。

【図4】

フローダイバーター治療の実例



# 「鑑 AKIRA」活用の実例

技術部 リハビリ技術科

リハビリ技術科 理学療法部門では、患者さんへリハビリテーションサービスを提供し、日常生活へ戻れるように支援を行っています。日常生活へ戻る上で歩くことが出来るかはとても重要であり、患者さんは歩いて自宅へ帰る為にスタッフと日々リハビリに励んでいます。また、スタッフはリハビリの効果を患者さんに実感して頂けるよう、歩きが良くなっていることを声かけや動画を用いて説明しています。しかし、声かけや動画だけでは歩けるようになっていないと実感できない患者さんもあり、リハビリへの意欲低下に繋がることもあります。

2020年3月に株式会社システムフレンドより3次元動作解析機器「鑑 AKIRA」を導入しています。「鑑 AKIRA」は5m離れた位置から機器に向かって歩くことで歩幅や歩行速度、関節角度を瞬時に算出することが可能であり、リハビリ前後の計測結果や映像での比較から効果判定に利用できる医療機器となっています。これまで3次元動作解析機器は高額であることや広いスペースが必要であること、全身にマーカ―といわれる小さい機器を装着しなければならないことなど臨床現場での活用には制限が多くありました。一方で「鑑 AKIRA」は従来の3次元動作解析機器よりも安価で、限られたスペースでも活用が可能です。身体にマーカ―を装着する必要もなく、短時間で計測することが可能な為、患者さんへの負担も最小限に抑えることができます。加えて当院独自の取り組みとして、リハビリ前後の計測結果をサマリーとして画面への表示や用紙で患者さんに説明、提供が可能となっています。

「鑑 AKIRA」導入当初は、患者さんにリハビリの効果を実感してもらう為に活用や説明方法をスタッフ間で日々議論しました。試行錯誤を重ねながら2020年4月から患者さんに対して活用を開始し、現在2022年の10月までの2年半で、約380人の患者さんの計測を実施しています。また、サマリーは患者さんに延べ180枚を提供し、リハビリの効果について手元に残る形で説明を行っています。患者さんからは、映像の比較とサマリーのグラフ化された数値や姿勢を確認してもらうと「こう観ると良くなっているのがわか



りますね」、「歩けるようになってうれしい」といった効果を実感するお言葉を頂いています。

ここでは、「鑑 AKIRA」で自身が歩けるようになっていないと実感し、リハビリへ意欲的に取り組まれるようになった患者さんをご紹介します。入院当初、その患者さんは主に車椅子で移動されていました。一人で歩けない自分と転けそうになる恐怖心からリハビリへの意欲がなくなっている状態でした。その中で、リハビリを継続して入院当初よりも歩けるようになってきていましたが、本人としては「腰がふらつく」、「よくなっとんかな」と歩けるようになっていない実感をもって頂けませんでした。そこで、「鑑 AKIRA」を用いた映像比較とサマリーによるフィードバックを行いました。サマリーのグラフと映像を観て、「歩くのが速くなってる」、「歩けるようになってきたね」と効果を実感して頂くことが出来ました。また、なかなか面会に来ることが出来ない家族にもサマリーを提供すると、家族からも一緒に歩けるようになっていないことを喜んでもらえました。そこから、その患者さんは自分で1日の歩数を計測することや外を歩きたいという希望を言われるなどリハビリに対して意欲的に取り組まれる姿勢が増え、外も一人で歩けるまで回復されて退院しました。「鑑 AKIRA」の活用が、患者さんの意欲を高めるツールとなり、より良いリハビリテーションサービスの提供に繋がったと考えます。

私達リハビリ技術科のスタッフは、今後も患者さんに対して意欲的にリハビリに取り組むことが出来る環境を整え、身体の回復と自宅生活へ戻るためのリハビリテーションサービスを提供出来るよう努めて参ります。

## コンシェルジュ業務を拡充

協力企業：サマンサジャパン株式会社

かねてよりコンシェルジュを務めていた森末に加え、2022年7月よりサマンサジャパン株式会社から3名の方を新たに配置しました。

サマンサジャパンさまには新型コロナウイルス感染症対策の玄関前検温・問診の対応やコロナワクチンの集団接種会場の誘導・書類確認など、長期に渡ってご協力いただいております。より一層患者さんに寄り添ったサービスを提供していただくため、新たにコンシェルジュとして専門の研修を受けられた方を配置する運びとなりました。

足の不自由な方のお手伝いや病院内のご案内など、細やかな気配りでご来院された患者さんのサポートをしていた

だいております。コンシェルジュさんの笑顔を見ると元気になる、と患者さんから嬉しいお言葉も頂戴しています。



## フラワーアレンジメントを設置

協力企業：花と緑 てらもと

2022年6月より正面入口にフラワーアレンジメントを設置しました。

毎週月曜日、「花と緑てらもと」さまにフラワーアレンジメ

ントをお届けいただいております。

季節に合わせた美しい花々がご来院された患者さんの目を楽しませてくれています。





# 日本緩和医療学会の 認定研修施設の認可を受けて

診療部内科・緩和ケア病棟施設長 小原 弘之

2022年10月に当院は日本緩和医療学会の学会認定研修施設の認可を受けることになりました。日本緩和医療学会の施設認定は2009年4月から始まり、2022年4月現在では全国で578施設が、広島県では11施設が既に認定を受けており、10月から当院もその仲間入りをするようになりました。



よく間違われることが多いので、誤解されないように言及しますが、学会の施設認定は、がん診療拠点病院の制度や日本評価機構のように病院の診療の質を評価したり、充実した設備の有無や診療体制を一般市民の皆様には保障するものではありません。もちろん書類審査では、一年間の入院患者数、看取りを行った数などの活動実績や常勤医師・緩和ケア病棟や緩和ケアチームのスタッフの数など病院での活動や診療体制を報告して審査されますが、施設認定の目的は、その診療を将来担っていく若い研修医、後期研修を受けている医師が、緩和の専門的な研修がどの病院で受けられるのかの情報提供を行うことにあります。つまり各病院で医師が研修を希望した時にどのようなプログラムで研修が受けられるのか、どのような研修指導体制が整備されているかが最も重要視されます。従って学会の専門医が認定医がその施設に常勤医師として活動していることが必須になっています。緩和医療の領域に興味を持つ医師に、専門的な研修を受ける機会を提供して、学会の認定医や専

門医として活動できるように教育することが、認定研修施設に求められています。

当院では緩和ケア病棟施設長の小原が学会の専門医として、外科の高橋医師が認定医で研修指導者資格を有しており、今回の認定研修施設の認可を受けることになった次第です。認定研修施設としての施設の評価は、5年毎に更新される時に行われることとなりますが、何名の認定医や専門医を育成したかが問われることとなります。

多くの先生方はご存知と思いますが、日本に数多くある学会毎に認定医、専門医、指導医を認定したことで、専門医を標榜するために受けてきた研修が学会毎に異なり、また学会毎にその資格を得ることの難易度や専門性に差があって一般市民の方にわかりにくいことが問題になっています。第三者である日本専門医機構が2014年に設立されて、制度の改革が始まっていますが、機構による専門医制度もこれから本格的に整備されていくものと思われます。まず基本の19領域のいずれかの専門医を取得してから、サブスペシャルティ領域の専門医の受験資格を得ることになります。日本緩和医療学会の専門医も日本専門医機構の専門医制度に則ってサブスペシャルティ領域の専門医として活動していくことを目指しています。当院でも緩和医療の専門家を育成して、少しでも質の高い緩和医療の普及と啓発に貢献できればと考えています。



▲ 甘日市記念病院緩和ケア病棟3階 枯山水

# 訪問リハビリテーションでは、こんなことができます！

技術部 リハビリ技術科 作業療法士 宮本 祐介

甘日市記念病院では、リハビリ専門職員がご自宅に訪問させていただき、生活の場でリハビリを行う「訪問リハビリテーション」を行っています。

## 【当院の訪問リハビリテーションの特徴】

当院の訪問リハビリでは、自宅退院直後の不慣れな実生活に存在する危険箇所の確認と危険回避のための動作練習を行い、ご本人・ご家族の負担を少しでも軽くし安心して生活出来るよう、援助することを第1の目的としています。そのため、脳卒中・骨折・進行性疾患などを発症後、当院・当院外の回復期リハビリテーション病院を退院されてからご利用される方が多いです。また、ご自宅で長く療養されていてお困りの方にも対応しております。

実際に「トイレに行く度に介助が必要」「自宅のお風呂には入れない」など、その場・その時の在宅生活での問題点に対して、ご本人への動作指導やご家族への介助指導、ご自宅の環境調整を行い、ケアマネジャーや福祉用具業者など他の関係職種とも連携を図りながら解決していきます。また寝たきり予防のためにご本人への自主練習指導やご家族への援助指導も同時に行っています。

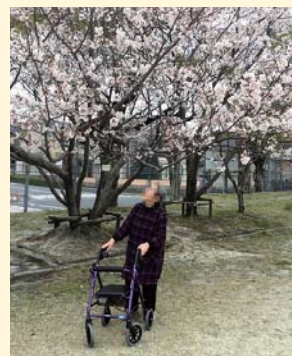
## 【具体的な内容】

- 基本動作(寝返り、起き上がり、座る、立ち上がり、歩行など)訓練
- 日常生活動作(食事、排泄、入浴や清潔保持など)訓練
- 日常生活関連活動(家事、外出、趣味活動など)訓練
- ご家族への介助指導
- 補助用具・住宅改修についての助言
- コミュニケーション手段についての助言
- などの訓練と介助指導を病状や症状、性格や精神状態、環境を踏まえて行わせていただきます。

## 【サービス提供について】

- 曜 日：月～金曜日(祝日、年末年始、お盆は除きます)
- 訪問時間：14:00～17:00(滞在時間は原則40分)
- 回数：原則週1回(ご相談に応じます)
- 個別リハビリ：理学療法、作業療法(どちらかのリハビリ専門職員がお伺いします)
- 実施地域：甘日市市(吉和、宮島町、浅原、飯山、玖島、栗栖、津田、中道、虫所山を除く)  
広島市佐伯区(旧湯来町を除く)  
※天候によっては訪問できない場合もございますので、ご了承ください。  
※駐車場のご準備や、鍵の開閉にご協力をお願い致します。
- 対 象：要介護、要支援の認定を受けられている方  
ご自宅での日常生活動作でお困りの方  
かかりつけ医より訪問リハビリテーションの利用が適当と思われる方

ご利用の希望、またはご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。





# 「アートで心を応援する」 似顔絵セラピー

緩和ケア病棟 主任 石津 のり子

2022年7月、似顔絵セラピーの村岡ケンイチさんが緩和ケア病棟に来られました。医療とアートをテーマに全国を回って、似顔絵セラピーを開催されています。

最初の患者さんは、絵が描き上がった頃娘さんが面会に来られ、完成した絵を観て「お父さん、すごいよ」と涙を流されていました。この患者さんは、実は朝から大変機嫌が悪く、当日描いていただくのはやめておこうかとなっていました。最後には不機嫌だった患者さんも笑顔で上機嫌になっていました。

2組目の患者さんは、直接会って絵を描くのは難しいということで、入院する前に、大好きな花の前で撮ったご夫婦の写真を見ながら描かれました。その後、ご夫婦で完成した絵

を観て、照れくさそうに微笑んでおられた姿を見て本当に素敵だと感じました。

村岡ケンイチさんはとても優しい声で、話し方、聞き方、会話の間の取り方が素晴らしく、患者さんとの会話の中で患者さんの人生を背景に似顔絵を描上げていただきました。その絵には患者さんが今まで生きてきた中で感じたものの、家族との思い出、背景が上手に書き上げられているように感じました。

病棟スタッフも完成した絵や笑顔の患者さんの姿を見て、癒やされるひとときでした。人を笑顔にする力、これが似顔絵セラピーの力だとつくづく感じました。

コロナ禍で患者さんとそのご家族が望まれる面会ができない中でこういった機会を設け、癒やしやリフレッシュ、心のケアをしていくことは大変重要なことです。

今回は1日で、5組の患者さんを描いていただきました。今後もこのような機会を作り、まだまだたくさんの患者さんを描いていただき、癒やしの時間を作ってあげることが出来れば良いと思います。

医療とアート、つながっていないようで、実は大変近い位置にあるということを改めて感じ、再認識することが出来ました。

このような機会をいただきありがとうございました。





# 社会医療法人清風会 第5期の 決算状況について

## はじめに

当法人の第5期は、流行を繰り返す新型コロナウイルス感染症の対策へ対応しながらも、急性期機能拡充を目的とした人員体制の整備に取り組む一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に始まった世界的な経済のインフレ加速の影響を受けて、エネルギー価格をはじめとした多岐にわたる物価の上昇が病院運営に大きな衝撃を与えた1年となりました。

このような状況の下、両病院共に院内クラスターに伴う一時的な入院制限があったものの、入院患者数や外来患者数の増加によって8期連続の増収となりました。その一方で、人員体制の整備により人件費が増加したほか、期中後半から物価上昇の影響を受けて、経費が増加しました。前期に比べ「入」が増えましたが、それ以上に「出」がかさんだ結果、前期(第4期)の業績を下回る決算となりました。

## 第5期(2021(令和3)年7月～2022(令和4)年6月)の決算状況について

【この表は、医業収益を100とした構成比を表示しています】

(単位:%)

| 項 目               | 第4期 実績 | 第5期 実績            |                    |       | 第5期 予想 | 第6期 予想 |
|-------------------|--------|-------------------|--------------------|-------|--------|--------|
|                   | 清風会    | 五日市記念病院<br>(一般病院) | 廿日市記念病院<br>(療養型病院) | 清風会   | 清風会    | 清風会    |
| 医業収益              | 100.0  | 100.0             | 100.0              | 100.0 | 100.0  | 100.0  |
| 医業費用              | 92.4   | 93.2              | 94.7               | 93.6  | 93.7   | 95.3   |
| 材料費               | 21.5   | 26.0              | 7.6                | 21.1  | 20.1   | 20.3   |
| 人件費               | 50.6   | 48.3              | 59.3               | 51.3  | 53.8   | 53.1   |
| 経費                | 8.8    | 7.6               | 12.8               | 9.0   | 8.5    | 9.1    |
| 委託費               | 4.4    | 4.5               | 6.0                | 4.9   | 4.9    | 5.5    |
| 減価償却費①            | 4.7    | 4.8               | 3.9                | 4.6   | 4.3    | 5.0    |
| 本部費               | 2.5    | 1.9               | 5.3                | 2.8   | 2.1    | 2.4    |
| 医業利益              | 7.6    | 6.8               | 5.3                | 6.4   | 6.3    | 4.7    |
| 医業外収益             | 1.7    | 2.0               | 0.9                | 1.7   | 0.1    | 0.1    |
| 医業外費用             | 1.3    | 1.1               | 1.3                | 1.1   | 1.2    | 1.0    |
| 経常利益②             | 8.0    | 7.7               | 4.9                | 6.9   | 5.2    | 3.8    |
| 可処分所得(③÷①+②-法人税等) | 12.8   | 12.6              | 9.1                | 11.6  | 9.5    | 8.8    |
| 借入金及び割賦返済④        | 4.3    | 3.8               | 4.7                | 4.0   | 4.4    | 4.3    |
| 支払後可処分所得(③-④)     | 8.5    | 8.8               | 4.4                | 7.6   | 5.1    | 4.5    |
| 外来患者数(人/日)        | 146.8  | 123.9             | 29.1               | 153.0 | 147.0  | 152.0  |
| 入院患者数(人/日)        | 252.4  | 152.2             | 100.5              | 252.7 | 250.3  | 264.0  |

※1 会計処理は病院会計準則に準じています。

※2 五日市記念病院及び廿日市記念病院は、医薬分業を実施しています。

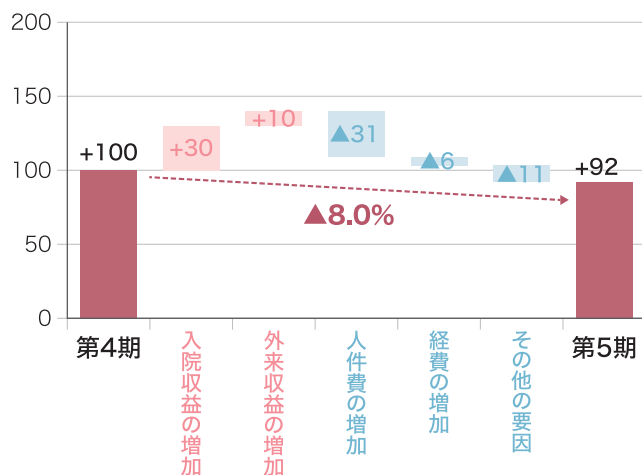
※3 本来人件費である清掃委託費は、委託費に含めています。

※4 第6期の人件費予想は第5期の実績に比べ4.7%多く見積っています。

## (1) 清風会全体の支払後可処分所得(収支)

清風会全体の収支は、前期に比べ医業収益は増加したものの、人件費をはじめとする医業費用の増加が影響し、医業収益に対する支払後可処分所得の比率は7.6%となり、**増収減益の結果**となりました。これをウォーターフォール図に表してみますと、次の様になります。

【図1 支払後可処分所得の変化】



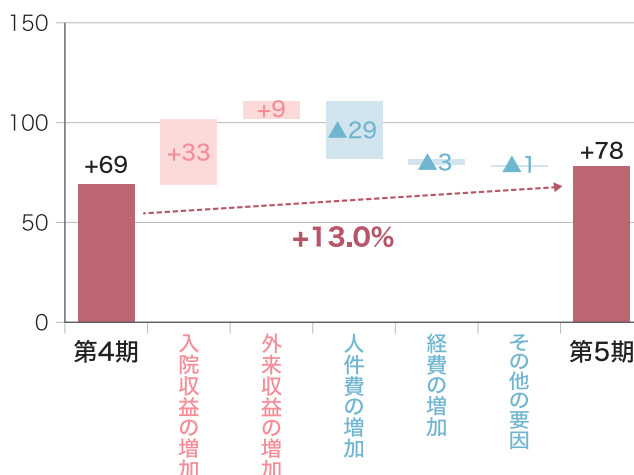
第4期の支払後可処分所得を基準に、それぞれの要因について金額の大きさとその増減を表示しました。支払後可処分所得におけるプラスの主な要因について見てみると、「入院収益や外来収益の増加」が影響しました。

一方で、マイナスの主な要因について見ると、「人件費の増加」に伴う利益の減少が影響しました。その結果、**最終的な支払後可処分所得は前期に比べ8.0%の減少**となりました。

## (2) 五日市記念病院の支払後可処分所得(収支)

(五日市記念病院180床)

【図2 支払後可処分所得の変化】



五日市記念病院の支払後可処分所得について見てみると、入院収益や外来収益の増加がプラス要因となりました。一般病棟における入院患者数の増加や、期中に脳卒中ケアユニット(SCU)の算定を開始したこと、脳外科関連の手術に加えて、腹腔鏡等の手術が増えたことが入院収益の増加につながりました。また、外来収益は平日午後から「発熱外来」を実施したことによる患者数の増加がプラスの要因となりました。一方で、急性期機能拡充のための増員や賞与の増額などによって人件費が増加したほか、エネルギー価格の上昇により経費が増加したことも主なマイナスの要因としてあげられます。その結果、**マイナス要因よりもプラス要因の影響が上回り、支払後可処分所得は前期に比べ13.0%増加**しました。



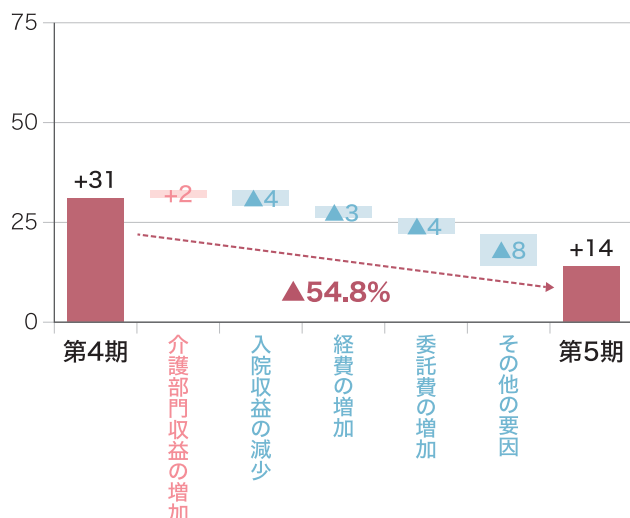
## 五日市記念病院の支払後可処分所得の増減要因について

|        |                                                                                       |         |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| プラス要因  |  | 入院収益の増加 |
|        |  | 手術件数の増加 |
| マイナス要因 |  | 外来収益の増加 |
|        |  | 発熱外来の実施 |
| マイナス要因 |  | 人件費の増加  |
|        |  | 経費の増加   |

### (3) 廿日市記念病院の支払後可処分所得(収支)

(廿日市記念病院126床)

【図3 支払後可処分所得の変化】



廿日市記念病院の支払後可処分所得について見てみると、通所リハビリテーションなど介護部門の利用者数の増加がプラスの要因となりました。一方で、コロナ禍での病棟運営が難しく、病棟の稼働状況が低下したことにより前期に比べ入院収益が減少しました。また、物価上昇により経費が増加したほか、患者食の提供を委託化したことによって、委託費が増加したこともマイナスの要因となりました。その結果、最終的な**支払後可処分所得は前期に比べ54.8%減少**しました。

#### 廿日市記念病院の支払後可処分所得の増減要因について



## 社会医療法人第6期(2022(令和4)年7月~2023(令和5)年6月)の収支予想について

前期に引き続き、五日市記念病院では、新型コロナウイルス感染症への対応や救急医療に力を入れ、急性期を中心に回復期並びに地域包括ケアまでの入院機能を充実させていきます。更に今期は、当院退院後の患者さんが住み慣れた自宅で安心して生活ができるよう、在宅における健康管理や身体維持機能等をおこなう「訪問看護ステーション」の開設を予定しています。

また、4年前から3T-MRIを設置するための増築計画は新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期となっています。今期もコロナ禍が続く状況下ではありますが、増築棟建設に向けて計画の進展を図る予定です。

一方の廿日市記念病院では、従来通り緩和ケアを併設した総合リハビリテーション病院として、地域の医療機関との連携強化を推進し、介護分野においては医療のアフターケアとして通所及び訪問リハビリテーションに力を入れていき、五日市記念病院と同様に、訪問看護ステーション開始に向け準備を進めていきます。

第6期の法人経営において、最も懸念されるのが急激な物価上昇による経費の増大です。世界経済の需要拡大に端を発した物価上昇は、円安やロシアによるウクライナ侵攻などと複合的に絡み合い、物価高騰を引き起こしました。あらゆる商品やサービス価格が値上がりするなか、特に電力料金的大幅な値上げが病院経営に与える影響は深刻です。

今期は不確定要素が多い見通しに加え、新型コロナウイルス感染症による影響も相まって、**法人全体の連結収支予想は、医業収益に対する支払後可処分所得の比率が+4.5%前後になると見込んでいます。**

## おわりに

中小の民間病院を取り巻く経営環境は、地域医療構想に基づく機能分化への対応、働き方改革による生産性向上・人材確保の必要性など様々な経営課題に直面する厳しい状況ですが、良質な医療は健全な経営から生まれるとの基本的な考えの下、将来を見据えた法人運営を企画していきます。

社会医療法人清風会は、五日市記念病院と廿日市記念病院を一体と考えた“清風会病院の概念”の下、地域に望まれる病院づくりを続けていきます。職員の皆さんの理解と協力をお願いします。





## 五日市記念病院 地域医療連携室からのご紹介



### 健康情報コーナー

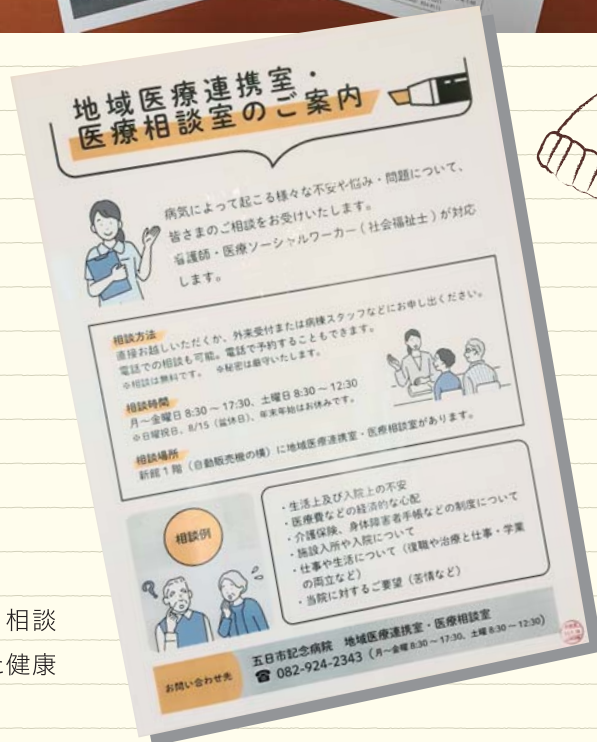


本館1階に健康情報コーナーがあります。当院の病院案内や実施可能な検査の資料、地域の研修や制度の情報、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の手引きなどを設置しています。設置している資料は、ご自由にお持ち帰り頂けます。パソコンも設置しており、当院のホームページを閲覧頂くことが出来ます。

外来診察室へ向かう途中にありますので、お立ち寄り下さい。



地域医療連携室・医療相談室の案内掲示が新しくなりました! 相談方法や相談例など記載し、デザインも一新しました。今回紹介した健康情報コーナーや、各病棟に掲示しています。



#### 五日市記念病院

連絡先(代表) TEL:082-924-2211  
(直通) TEL:082-924-2343

FAX:082-924-8111  
FAX:082-924-2215

e-mail:msw@seifu.net

#### 廿日市記念病院

連絡先(代表) TEL:0829-20-2300  
(直通) FAX:0829-20-2777

FAX:0829-20-2301

e-mail:msw@seifu.or.jp

## 診療担当 医師の ご紹介

## 五日市記念病院

### 脳神経外科

理事長・院長 向田一敏(昭和54年広島大学卒)  
副院長・科長 坪井俊之(平成9年宮崎大学卒)  
脳卒中・血管内治療センター長 坂本繁幸(平成9年広島大学卒)  
技術部長 梶原洋介(平成13年広島大学卒)  
相談役(前理事長) 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)

大庭秀雄(平成24年広島大学卒)  
光原崇文(平成13年広島大学卒)※  
瀬山 剛(平成17年大分大学卒)※

特別顧問 上山博康(昭和48年北海道大学卒)※

### 内科

副院長・科長 土井謙司(昭和53年岡山大学卒)

ドック科長 印真 誠(昭和57年自治医科大学卒)  
黒木ゆり(昭和56年広島大学卒)  
藤田順子(昭和63年藤田医科大学卒)  
瀬山敏雄(昭和50年広島大学卒)※  
菊地由花(平成22年久留米大学卒)※

### 循環器内科

科 長 湯谷 剛(平成2年愛媛大学卒)  
総合診療科長 免出 朗(平成11年山梨大学卒)  
林 康彦(昭和47年広島大学卒)※

### 血液内科

副院長・科長 許 泰一(昭和52年広島大学卒)

### 外科

科 長 亀田 彰(昭和55年広島大学卒)  
診療部長・消化器・内視鏡外科長 内田一徳(昭和62年大分大学卒)

### 整形外科

室山俊則(平成元年高知大学卒)  
平松廣夫(昭和47年広島大学卒)※  
岩崎洋一(昭和57年鹿児島大学卒)※

### 心臓血管外科

古川智邦(平成14年広島大学卒)※

## 廿日市記念病院

### 脳神経外科

院 長 浅野 拓(昭和48年岡山大学卒)  
副 院 長 茶木隆寛(昭和58年愛媛大学卒)  
相談役(前理事長) 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)  
高柿尚始(平成14年広島大学卒)

### 外科

吉屋智晴(平成14年広島大学卒)  
高橋 元(平成20年広島大学卒)

### 整形外科

室山俊則(平成元年高知大学卒)

### 内科

緩和ケア病棟  
施設長

小原弘之(平成3年山口大学卒)  
益田智子(平成16年広島大学卒)※

### 循環器内科

免出 朗(平成11年山梨大学卒)

### 呼吸器内科

中川三沙(平成15年広島大学卒)※  
棚橋弘貴(平成25年広島大学卒)※

※印：非常勤医師  
(2023(令和5)年1月1日現在)

## 五日市記念病院

## 脳・血管ドックのご案内

### ドックコース

- A 脳ドック……………40,000円 ● D 簡易血管ドック…55,000円
- B 簡易脳ドック……25,000円 ● E 脳+血管ドック…80,000円
- C 血管ドック……………65,000円

### オプション

肺癌検診(肺CT検査)……………8,000円

内臓脂肪測定(CTによる)………2,000円

- 脳ドックは、毎週木・金曜日となります。
- 血管ドックは毎週木曜日に実施致します。  
血管ドックには、肺癌検診(肺CT検査)が含まれます。  
なお、複数回の来院が必要となります。

### その他

大腸CT検診……………28,000円

社会医療法人 清風会

五日市記念病院

日本脳ドック学会認定施設

〒731-5156 広島市佐伯区倉重1-95

ドックについての  
お申し込み・お問い合わせは

TEL

082-924-2211

| 検査項目          | 脳ドック |   | 血管ドック |    | 脳+血管ドック |
|---------------|------|---|-------|----|---------|
|               | A    | B | C     | D  | E       |
| 身長・体重・血圧・腹囲   | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 視力            | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 聴力            | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 頭部MRI         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 頭部MRA         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 頸部MRA         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 冠動脈CTA        |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 体幹部CT         |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 体幹部CTA        |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 血液検査・尿検査      | ○    |   | ○     | △※ | ○       |
| 便潜血           | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 心電図           | ○    |   | ○     | ○  | ○       |
| 胸部X線          | ○    |   | ○     | ○  | ○       |
| 骨密度測定         | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 脈波図           |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 眼底検査          | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 頸動脈エコー        | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 長谷川式簡易知能評価    | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 内臓脂肪測定(CTによる) | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 肺癌検診(肺CT検査)   |      |   | ○     | ○  | ○       |

※△：採血によるクレアチニン検査のみ

# 五日市 記念病院 のご案内

一次脳卒中センター(PSC)※

## 脳神経外科を中心に 全身管理のできる急性期救急病院

**所在地** 広島市佐伯区倉重一丁目95 TEL:082-924-2211

**診療科目** 脳神経外科、内科、循環器内科、血液内科、消化器・内視鏡外科、整形外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、脳ドック・血管ドック

**総病床数** 180床(急性期一般病床72床(内SCU6床)、地域包括ケア病床28床、回復期リハビリ病棟80床)

**外来診療時間** 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)  
午後2時30分～午後5時30分(受付時間:午後2時～午後5時)

**休診日** 土曜日午後・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/29午後、12/30～1/3、1/4午後)  
但し、12/31～1/3までは年末年始定点診療を実施

最新の  
外来受診の  
ご案内は  
こちらから



### ●外来診療スケジュール並びに担当医師

(2023(令和5)年1月1日現在)

|               |    | 月曜          |                        | 火曜          |    | 水曜          |             | 木曜       |      | 金曜                        |            | 土曜                                         |
|---------------|----|-------------|------------------------|-------------|----|-------------|-------------|----------|------|---------------------------|------------|--------------------------------------------|
|               |    | 午前          | 午後                     | 午前          | 午後 | 午前          | 午後          | 午前       | 午後   | 午前                        | 午後         | 午前                                         |
| 脳神経外科         | 初診 | 大庭          |                        | 坪井          |    | 交替制         |             | 梶原(洋)    |      | 坂本                        |            | 第1瀬山(剛)※ <sup>1</sup><br>第2・4・5光原<br>第3交替制 |
|               | 再診 | 坪井<br>梶原(洋) |                        | 向田<br>梶原(洋) |    | 茶木<br>梶原(四) |             | 向田<br>坂本 |      | 向田<br>梶原(四)※ <sup>2</sup> | 第1・3<br>光原 | 大庭<br>第2・4・5梶原(四)                          |
| 内科            |    | 印具<br>藤田    | 黒木※ <sup>3</sup><br>土井 | 黒木<br>印具    | 藤田 | 土井<br>印具    | 黒木          | 菊地<br>土井 | 藤田   | 黒木<br>藤田                  | 印具         | 瀬山(敏雄)<br>交替制                              |
| 循環器内科         |    | 湯谷          |                        | 湯谷<br>林     |    | 免出          |             | 免出       |      | 湯谷                        |            | 交替制                                        |
| 血液内科          |    | 許           |                        | 許           |    | 許           |             | 許        |      | 許                         |            | 許                                          |
| 消化器・<br>内視鏡外科 |    |             | 内田※ <sup>4</sup>       |             |    |             |             |          | 内田   |                           |            |                                            |
| 整形外科          |    |             |                        |             | 室山 |             | 平松          |          |      |                           | 室山         |                                            |
| 心臓血管外科        |    |             |                        |             |    |             |             |          | 第3古川 |                           |            |                                            |
| 脳ドック          |    |             |                        | 印具          |    |             | 梶原(四)<br>印具 | 検査日      |      | 検査日                       |            |                                            |
| 血管ドック         |    |             |                        | 林<br>印具     |    |             |             | 検査日      |      |                           |            |                                            |

※1 第1土曜日前午、瀬山(剛)は機能脳外科外来を行っています。 ※2 第3土曜日前日の金曜は休診です。

※3 月曜日午後、黒木にて癒し外来を行っています。 ※4 胆石・ヘルニア外来を行っています。

脳神経外科初診外来



### アクセス

#### 自家用車

来院者用駐車場141台(無料)  
JR五日市駅より10分

#### 公共交通機関

- JR五日市駅北口よりバス  
(薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島電鉄楽々園駅よりバス(湯来温泉行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス  
(東観音台、薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス(四季が丘、阿品台行き)  
波出石(はでいし)バス停下車、徒歩3分

※五日市記念病院は、2019(令和元)年9月1日、  
日本脳卒中学会より、「一次脳卒中センター  
(PSC)」の認定を受けました。





# 廿日市 記念病院 のご案内

## 心を重視したホスピスと 総合リハビリテーション病院

**所在地** 廿日市市陽光台五丁目12 TEL:0829-20-2300

**診療科目** 脳神経外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、リハビリテーション科

**総病床数** 126床(回復期リハビリ病棟60床、療養病棟42床、緩和ケア病棟24床)

**外来診療時間** 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)

**休診日** 土曜日・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/30～1/3)

最新の  
外来受診の  
スケジュールは  
こちらから



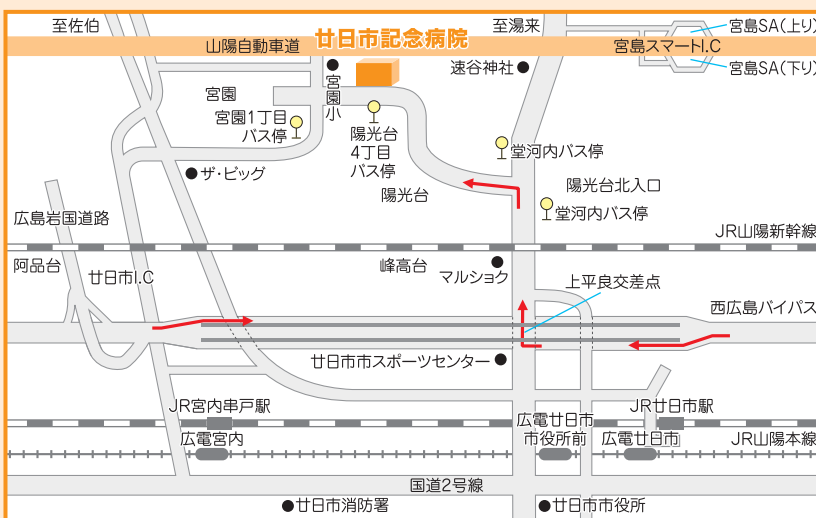
### ● 外来診療スケジュール並びに担当医師

(2023(令和5)年1月1日現在)

|    |        | 月曜      | 火曜    | 水曜    | 木曜        | 金曜  |
|----|--------|---------|-------|-------|-----------|-----|
| 午前 | 脳神経外科  | 茶 梶 木 原 | 浅 野   | 浅 野   | 茶 梶 木 原※1 | 浅 野 |
|    | 内 科    |         | 益 田   | 小 原   | 小 原       |     |
|    | 循環器内科  |         | 免 出※2 |       |           |     |
|    | 呼吸器内科  | 中 川     |       |       |           | 棚 橋 |
|    | 外科     |         |       |       | 高 橋       |     |
|    | 整形外科   |         |       |       | 室 山※2     |     |
| 午後 | 緩和ケア※3 | 交替制※4   | 小 原   | 交替制※4 | 交替制※4     | 小 原 |

※1 第3土曜日の前々日木曜日は休診となります。 ※2 火曜日の循環器内科と木曜日の整形外科の診療は、10時からとなります。

※3 緩和ケア外来は完全予約制で、緩和ケア病棟入院の為の診療を行っています。 ※4 担当医は交替制です。



### アクセス

#### 自家用車

来院者用駐車場62台(無料)  
JR宮内串戸駅または広電宮内駅より10分

#### 公共交通機関

- JR宮内串戸駅または広電宮内駅よりバスで宮園1丁目バス停下車、徒歩4分(宮園、四季が丘行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりバスで堂河内バス停下車、徒歩5分(原、川末行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりさくらバス(西循環)で陽光台4丁目バス停下車すぐ

## 法人の理念

私たちは『医療は仁術』であり、  
『病院はサービス業』であることを忘れず、  
『社会に望まれる医療』の実現を目指して、  
より良質で、温かく心の通った医療を提供します。

- ☐ 私たちは、患者さまを守ります
- ☐ 私たちは、思いやりを大切にします
- ☐ 私たちは、誠実な医療を目指します
- ☐ 患者さまには人格の尊重を、  
病気に対しては厳しい目をもって  
より良い医療を目指します

## 年間行事

2022(令和4)年7月～2023(令和5)年1月

|     |             |                                       |
|-----|-------------|---------------------------------------|
| 7月  | 1日          | 清風会 開設記念日                             |
|     | 15日         | 夏季賞与 支給                               |
| 12月 | 2日          | 五日市記念病院 病院機能評価 一般病院 1<3rdG:Ver.2.0>認定 |
|     | 15日         | 冬季賞与 支給<br>成果賞与 支給                    |
| 1月  | 12月31日～1月3日 | 佐伯区医師会 定点診療(広島市年末年始救急医療協力病院・五日市記念病院)  |

## 編集後記

昨年は、サッカーワールドカップで、日本が強豪ドイツ、スペインを破りベスト16に進んだものの、クロアチアに敗れ悲願のベスト8は叶いませんでした。しかしながら、ドイツ、スペインに勝つということは、以前の日本からすると、相当力をつけてきていると思われます。何事も目標に向かって、ひたむきに努力を続ければ、成果が現れるという証拠だと思います。「継続は力なり」。

(管理本部 渉外部門 塚本 修久)

昨年は2月の電子カルテ更新に始まり、病院機能評価の更新や診療部のクラスターなど怒濤の1年間でした。今年はどのような年になるのでしょうか。4月から事務職員の制服が新しくなりますので今からとても楽しみです。

(五日市記念病院 庶務課 藤岡 恵美)

五日市と廿日市の電子カルテが統合されました。

新しいカルテ、新しい年が始まりますが、共に充実したものにしていきたいです。

(廿日市記念病院 庶務課 井上 仁)

社会医療法人  
**清風会**

第70号 2023年1月1日

### 管理本部

〒731-5156  
広島市佐伯区倉重1丁目95  
TEL (082)943-7725  
FAX (082)921-0104  
URL <https://www.seifu.or.jp>  
E-mail [kannri@seifu.net](mailto:kannri@seifu.net)



### 五日市記念病院

TEL (082)924-2211  
FAX (082)924-8111  
URL <https://www.seifu.or.jp/imh/>  
E-mail [imh@seifu.net](mailto:imh@seifu.net)



### 廿日市記念病院

TEL (0829)20-2300  
FAX (0829)20-2301  
URL <https://www.seifu.or.jp/hmh/>  
E-mail [hmh@seifu.or.jp](mailto:hmh@seifu.or.jp)

